研究機関：広島大学

研究課題名	放射線治療業務ワークフロー改善および効率化と患者投与線量最適化に関する研究
研究責任者名	広島大学病院診療支援部放射線治療部門　部門長　中島　健雄
研究期間	2022年3月14日(倫理委員会承認後) ～　2033年　3月31日

対象者

1990年4月1日から2032年3月31日の間に、広島大学病院放射線治療科で放射線治療を受けられた患者さん。

意義・目的

放射線治療は様々なスタッフにより多くのプロセスを経て実施されます。一方、人と人が関わりあう仕事には、業務中のミスやエラーが少なからず起こりえます。今回、こうしたミスやエラーを集計し、どういったプロセスで起こり、また放射線治療の実施にどの程度影響するのかを明らかにするため、この研究を計画しました。

方法

本研究は，全て診療録（カルテ）情報を転記して行います。

カルテから転記する内容は年齢、性別、照射歴、治療開始日、治療終了日、治療部位、CTなどの医用画像、治療計画装置上の線量計算結果、機器の動作記録、線量測定データです。(個人が特定

[redacted]

す。共同研究を実施する北海道大学病院にも匿名化したエラー事例を提供し、エラーの影響度など